

【1998年3月27日】日・独社会保障協定（仮称）の実施に伴う厚生年金保険制度等の特例措置案について（答申）

社会保障制度審議会（総会第510回）

平成10年3月27日

大蔵大臣 松永 光 殿
文部大臣 町村 信孝 殿
厚生大臣 小泉 純一郎 殿
農林水産大臣 島村 宜伸 殿
自治大臣 上杉 光弘 殿

社会保障制度審議会
会長 宮澤 健一

日・独社会保障協定（仮称）の実施に伴う厚生年金保険制度等の特例措置案について（答申）

平成10年3月24日厚生省発年字第22号で諮問のあった標記の件について、本審議会の意見は下記のとおりである。

今回の諮問案は、国際化時代に対応して日独両国の年金制度への二重加入の防止と、年金加入期間の通算等を図るものであり、了承する。

国際社会における相互依存関係が強まり、国境を越えた企業活動や人の移動がますます活発化している今日においては、交流の最も多い米国を始めとして、英国その他の国々との間についても、国内の取組体制を整備しつつ、協定の早期締結に向けて努力されたい。